

令和元(2019)年度 栃木県内の埋蔵文化財イベント一覧(9月～12月)

※予定が変更になる場合がありますので、詳細は直接事業主体機関にお問い合わせください。

No.	機関名	事業名	事業内容	開催日	時間	会場	問い合わせ先	
							担当部署名	電話番号
1	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター	特集展示発掘調査速報展 平成30年度の発掘調査から	平成30年度の発掘調査成果速報展	10月1日(火)～ 11月29日(金)	9:30～16:30 (入館16:00まで)	栃木県埋蔵文化財センター 企画展示室	埋蔵文化財センター 普及資料課	0285 (44) 8441
2		史跡見学会	県内史跡・遺跡などを見学	9月29日(日)	未定	那須地方(予定)	埋蔵文化財センター 普及資料課	0285 (43) 1971
3		発掘調査報告会	平成30年度の発掘調査成果を発掘担当者が報告	10月27日(日)	10:00～12:00	栃木県埋蔵文化財センター 研修室	埋蔵文化財センター 普及資料課	0285 (44) 8441
4	栃木市	特別講演会	特集展示に関するテーマを専門の研究者が講演	10月27日(日)	13:30～15:00	栃木県埋蔵文化財センター 研修室	埋蔵文化財センター 普及資料課	0285 (44) 8441
5		石器作り教室	石器作り講座	9月～10月	10:00～12:00(予定)	星野憩いの森	栃木市教育委員会 事務局文化課	0282 (21) 2498
6		ふるさとの城郭群再発見事業	西方城、二条城跡現地説明会	11月頃(予定)	10:00～12:00(予定)	西方城跡	栃木市教育委員会 事務局文化課	0282 (21) 2498
7	佐野市	唐沢山城跡攻略ガイドツアー	ボランティアガイドによる案内	11月17日(日) 11月24日(日) 11月30日(土)	各回とも9:00～12:00	唐沢山城跡	佐野市教育委員会 事務局文化課	0285 (56) 9159
8	大田原市	待塚古墳群ツアー	待塚古墳群を歩いてめぐる見学会	10月26日(土)	13:30～	大田原市内	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	0287 (98) 3322
9		市内遺跡ツアー	市内遺跡を歩いてめぐる見学会	11月9日(土)	13:30～	大田原市内	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	0287 (98) 3322
10		夏コミ企画展「探検!大田原の遺跡 不動院裏遺跡」	不動院裏遺跡から出土した資料を展示	8月3日(土)～ 9月8日(日)	開館時間 13:30～15:00	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	0287 (98) 3322
11	大田原市 那珂川町	第27回特別展 那須の歴史をひもとくV「那須の古代産業-瓦・須恵器の生産と流通-」	那須の古代産業の展開と流通の様相をひも解く展示会	9月14日(土)～ 11月17日(日)	①開館時間:9:00～17:00 ②開館時間:9:30～17:00 (入館は16:30まで)	①大田原市なす風土記の丘湯津上資料館 ②那珂川町なす風土記の丘資料館	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	0287 (98) 3322
12		第27回特別展史跡見学会	特別展に関する知識を深めるため、関連する史跡及び博物館等を見学する。	9月28日(土)	8:00～18:00	埼玉県方面	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
13		第27回特別展展示解説	展示解説	9月15日(日) 10月12日(土) 11月16日(日)	各回とも13:30～	大田原市なす風土記の丘湯津上資料館 那珂川町なす風土記の丘資料館	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	0287 (96) 3322
14	大田原市 那珂川町	第27回特別展記念シンポジウム	特別展関連の講演会 講師 高井 淳治氏(駒澤大学文学部教授) 山口 耕一氏(下野市教育委員会) 清地 良太氏(宇都宮市教育委員会)	11月2日(土)	9:30～15:30	那珂川町ふるさと館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
15		第27回特別展史跡ウォーク	特別展に関する知識を深めるため、周辺の関連遺跡を巡る。	11月2日(土)	9:30～15:30	那珂川町・那須烏山市周辺	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
16	矢板市	中世陶磁器の世界(栃木県立博物館地域移動博物館)	塩谷朝業が活躍した鎌倉時代前後の頃の陶磁器類を公開する。	9月21日(土)～ 11月4日(月・祝)	10:00～16:00	矢板市立郷土資料館	矢板市立郷土資料館	0287 (43) 0423
17		学芸員によるとっておき常設展示解説	矢板市の歴史・自然を紹介する常設展について、学芸員による解説を聞き知識を習得する。	毎月第4土曜日	14:00	矢板市立郷土資料館	矢板市立郷土資料館	0287 (43) 0423
18		プラ板でキーホルダー作り	プラスチックに油性マジックで日本遺産に因る絵を描き、オープンスターで加熱、キーホルダーを取り付け完成	開館時間中いつでも	10:00～16:00	矢板市立郷土資料館	矢板市立郷土資料館	0287 (43) 0423
19	那須烏山市	烏山城築城跡見学会(中級編)	烏山城跡(主に西城・北城)の見学	未定 (11～12月頃予定)	未定	烏山城跡	那須烏山市教育委員会 事務局生涯学習課	0287 (88) 622
20	下野市	エゴマ灯明の会	下野薬師寺跡で灯明を灯すイベント	9月14日(土) 雨天の場合は翌日に延期	18:00～19:00	下野薬師寺跡 下野薬師寺歴史館	下野薬師寺歴史館	0285 (47) 3121
21		東の飛鳥PRシンポジウム(仮)	未定	11月下旬	11月下旬	未定	下野市教育委員会 事務局文化課	0285 (32) 6105
22	上三川町	かみのかわ歴史ウォーク	上三川町内の史跡や寺社を巡る。	11月下旬～12月中旬	未定	未定	上三川町教育委員会 生涯学習課	0285 (56) 9159
23	益子町	歴史講座3 歴史講座4	中世芳賀郡の城館について(仮) 栃木県考古学会 橋本 道郎氏 古代芳賀郡の仏教について(仮) 県埋文センター 池田 敏宏氏	9月28日(土) 10月26日(土)	13:30～15:30	益子町中央公民館	益子町教育委員会 生涯学習課文化財係	0285 (72) 3101
24	壬生町	遺跡報告会	車塚古墳・牛塚古墳・愛宕塚古墳 発掘調査報告会	9月7日(土)	13:00～	城址公園ホール (壬生中央)	壬生町歴史民俗市旅館	0282 (82) 8544
25	那珂川町	特別陳列「えと展」	干支を通じて人間と動物の関わりと歴史について展示を行う	12月7日(土)～ 1月13日(月・祝)	開館時間:9:30～17:00 (入館は16:30まで)	那珂川町なす風土記の丘資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
26		古代文字講座	干支にまつる漢字の謎の謎、ハコを彫る講師:小暮 雅昭氏(栃木県刻字協会会長)	12月7日(土)	9:30～12:00	那珂川町なす風土記の丘資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
27		ミニ門松づくり	高さ30cmほどのミニ門松を1対つくる。	12月15日(日)	9:30～12:00	那珂川町なす風土記の丘資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
28		第24回企画展 「那珂川町のふるみちを辿る」	那珂川町に古くからある道や遺蹟・橋について紹介する。	11月16日(土)～ 3月15日(日)	開館時間:9:30～17:00 (入館は16:30まで)	那珂川町なす風土記の丘資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
29		記念講演会	第24回企画展の知識を深めるため、講師:奥野 正弘氏(栃木県立なす風土記の丘資料館館長)	11月23日(土)	13:30～15:00	那珂川町なす風土記の丘資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
30	那珂川町	古道を歩く(仮)	第24回企画展の知識を深めるため、町内の古道等を歩く	12月1日(日)	9:30～12:00	那珂川町内	那珂川町馬場土資料館	0287 (92) 1103

# 栃木県埋蔵文化財センターだより

## CONTENTS

- 埋蔵文化財センターが実施した発掘調査から  
国指定史跡佐貫石仏  
ホクチャ遺跡
- 埋蔵文化財センターが復興支援した発掘調査から  
上ノ台館跡(福島県)
- 市町教育委員会が実施した発掘調査から  
間木堀遺跡(真岡市)  
日光道西遺跡(小山市)  
児山城跡(下野市)
- 令和元年度 栃木県内の埋蔵文化財イベント一覧(9～12月)



発行 令和元(2019)年9月1日  
栃木県教育委員会  
宇都宮市鳩田1-1-20  
電話 028-623-3425  
編集 (公財)とちぎ未来づくり財団  
埋蔵文化財センター  
下野市紫474  
TEL 0285-44-8441 (代表)  
FAX 0285-43-1972  
URL http://www.maibun.or.jp

# 栃木県内最古級! ? 古墳時代の壺



とちぎ発掘イッペン図鑑

横倉戸館古墳群(小山市)の方墳(横倉戸館8号墳)から出土しました。古墳時代前期の土師器で、お墓に供えられたものです。均整のとれた形と表面に塗られた赤、が目を引きます。細かく見ると、口縁部には棒状の貼付文がめぐり、胴部には網目のような文様(縄文)が付けられています。これらの特徴は、南関東地方の後期弥生土器にその系譜を求めることができます。本県の古墳文化の始まりを考えるととても大切な資料です。

埋蔵文化財センターの見学・体験学習・職場体験等のお申し込みは、  
ホームページ <http://www.maibun.or.jp>  
をご覧のうえ普及資料課まで  
TEL 0285-44-8441 (代表)  
FAX 0285-43-1972

### 編集後記

いよいよ「令和」という新たな時代がスタートしました。これからどのような歴史が積み重なっていくのでしょうか。過去の歴史を紐解くと、思いがけないヒントが発見できるかもしれません。 [ながとよ]

撮影：小川忠博  
実際のサイズ：口径 25.9 cm、底径 11.6 cm、器高 49 cm



埋蔵文化財センターが実施した発掘調査から  
 国指定史跡佐貫石仏（塩谷町）



佐貫石仏

遺跡の全景（南上空から）

佐貫石仏は、平安～鎌倉時代初期に鬼怒川沿いの崖に彫られた磨崖仏で、大正15年に国史跡に指定されました。保存活用するための基礎となる情報を得る目的で、塩谷町から委託を受け平成28年度から確認調査をしています。

調査3年目の平成30年度は、石仏の周りに立つ大きな岩の周囲から、河原石や柔らかい石を砕いて敷き詰めた道を発見しました。道は岩のまわりを回ったり、岩の隙間をぬうようにして続いています。石仏の近くには多くの神様や仏様が祀られており、それらを巡るための順路だったかもしれません。

また、江戸時代に建てられた石塔の下に古い石が据えられていました。より古い時代の石塔の一部で、場所を変えずに作り替えていたこととなります。ここが信仰の地として、長年親しまれてきた証拠と言えます。



石敷の発掘調査の状況



現地説明会の様子

埋蔵文化財センターが実施した発掘調査から  
 ホクチヤ遺跡（佐野市）



鉢

托

使用イメージ図

下野薬師寺跡出土の托（完品）  
 写真提供：下野市教育委員会

今回見つかった奈良三彩の托（底部）



住居跡の発掘調査状況

ホクチヤ遺跡は、佐野市街地から東に約3km、東北自動車道佐野サービスエリアのすぐ南、三轟山西側の小高い台地の上にあります。今回の調査は、県道建設に伴う事前発掘調査で、旧石器時代から中世にわたる遺構や遺物が見つかっています。

特に注目されるのが、平安時代の竪穴住居跡5軒のうち1軒から見つかった奈良時代の国内産陶器である奈良三彩の托の底部破片です。

奈良三彩は奈良時代（8世紀代）に国内（奈良）で焼かれた高級品です。托とは仏具のことで、栃木県内では下野薬師寺跡から白黒2色の釉薬をかけた「二彩」の托のほか2例が知られているだけで、全国的にも非常に珍しい遺物です。



三轟山

佐野SA

調査範囲

遺跡の全景（西上空から）



埋蔵文化財センターが復興支援した発掘調査から  
かみの だいたて  
上ノ台館跡（福島県）



上ノ台館跡（第3次調査）全景



発掘調査の様子



文化庁より担当者に感謝状が贈呈されました。

埋蔵文化財センターでは、東日本大震災の復興支援のため平成25年から公益財団法人福島県文化振興財団に職員が出向しています。ここでは平成30年度に支援した遺跡のうち福島県霊山町の上ノ台館跡について紹介します。この遺跡は、現地事務所から30～45m高い丘陵の上であり、5～8月の調査期間中は、地元の作業員さんたちと毎日150段の階段を上って調査地点まで通いました。

丘陵が階段状に造成され、平場からは建物

跡や柱穴の列、排水のための溝などが発見されました。東側斜面はほぼ垂直にカットされ、その直下が狭い通路跡となっていました。通路を北に進んだ奥の平坦部からは、塀もしくは柵と思われる柱穴の跡が見つかり、下方からの視線を遮るためのもので、山城関連の遺跡と思われます。時代としては、出土した香炉や内耳土器、陶器の破片から、戦国時代と思われる。

写真提供（公財）福島県文化振興財団

市町教育委員会が実施した発掘調査から  
まぎほり  
間木堀遺跡（真岡市）



SD-1

I区調査区（西上空から）



溝状遺構の断面

I区調査区の北側で確認された溝（SD-1）は、幅4m、深さ約2mの規模で、東西方向に向いていました。この溝は昭和48・56・平成8年度の中村遺跡の発掘調査で確認された外郭大溝の一部である可能性が考えられます。また中村郵便局付近の確認調査では、外郭大溝の南東コーナーが確認され、西進すると、SD-1の大溝に該当します。

今回見つかった大溝を中村遺跡外郭大溝の南辺と考えると、南北約950m、東西約360～380mに及ぶ広大な遺跡であることが再認識されました。

写真・資料提供 真岡市教育委員会

間木堀遺跡は、真岡市西の台地、鬼怒川の東岸約2kmに位置し、現在までの発掘調査で、平安時代頃の竪穴住居跡3軒、掘立柱建物跡13棟、溝状遺構6条などが見つっています。



II区調査区（西上空から）



市町教育委員会が実施した発掘調査から  
にっこう どうにし  
 日光道西遺跡（小山市）



道路遺構

調査区上空（北上空から）



現地説明会の様子



調査区上空（北上空から）

市町教育委員会が実施した発掘調査から（6）

日光道西遺跡は、小山市の北部大字喜沢に所在する遺跡です。平成8・9・25年の3カ年にわたり発掘調査が行われ、鎌倉時代から南北朝時代にかけての大きな堀跡や橋脚跡、建物跡や井戸跡などが見つかっています。

平成30年度は遺跡の北東部分を調査し、南北にのびる道路遺構と西から南に折れる溝が確認されました。道路遺構は両側に設けられた側溝を含む幅が13.8mほどあり、当時の地表を掘り窪めて作られています。側溝の付け替えから、3時期の変遷が考えられます。また、西から南に折れる溝は、幅約3mあり、南に折れる部分では道路遺構を壊して作っていることを確認しました。

溝の中からは、13世紀後半につくられた陶磁器や土器が出土しており、道路遺構はそれ以前に作られ、使われていたことが分かります。なお、道路遺構は、鎌倉から奥州を結ぶ奥大道（中路）と考えられ、13世紀後半に別の場所に移された可能性が高いと思われます。

写真・資料提供 小山市

市町教育委員会が実施した発掘調査から  
こやまじょう  
 児山城跡（下野市）



現地説明会の様子



東側堀の断面図



東側郭及び堀の断面図

下野市教育委員会では、平成28年度より県指定の史跡児山城跡の全域の範囲確認を目的とした調査を実施しています。

平成28年度は本丸内部や堀、土塁の状況を確認するための調査を行い、15世紀末～16世紀前半頃の土器、合戦時の投石に使用したと考えられる拳大の石約100点が出土しました。

平成29年度は、本丸の東側のくるわ郭及び堀の確認調査を実施し、古い時期の堀を埋め戻して郭を造成していることが分かりました。

平成30年度は平成29年度の郭の南側の調査を実施し、2時期の堀を確認することができました。平成29年度の調査成果と平成30年度の調査から、児山城が大規模な土木工事によって堀や土塁を造り直して城の規模を拡大していたことが分かりました。

写真・資料提供 下野市教育委員会

市町教育委員会が実施した発掘調査から（7）